

旭川市工芸センター 令和7年度の事業概要

技術指導・試験研究等の実施

●木工芸指導行政費：4,884千円

家具や窯業に関する調査、試験、技術指導、製品開発支援等を行う。

- ・技術指導員の配置
- ・技術指導・相談
- ・依頼試験
- ・機械貸出
- ・研究業務
 - ・木材、木製品に関する研究
 - ・窯業に関する研究
 - ・製造業実態調査 等
- ・技能五輪出場選手等への技術指導

研修会・講習会等の開催

●旭川工芸技術等継承事業費：900千円

熟練技術者や有識者と連携し、製造技術や技能・販売促進等に関する講習会等を行う。

(実習)

- ・木工汎用機械操作（5月 5社11人）
- ・木工旋盤操作（8/27・28）
- ・塗装（9月予定）
- ・窯業 釉薬による装飾技法（11月予定）
- ・CAD／CAM操作（11月予定）

(座学)

- ・木材接着の基礎（4～5月 8社16人）
- ・木彫の世界（7/30 16社34人）
- ・越境ECで切り拓く地方産業の未来（10/8）

●その他 受入研修等の実施

- ・学生インターンシップ、JICA研修等の受入

販売促進・イベント等の支援

●家具等国内外販路拡大支援費：1,000千円

国内外で開催される展示会への出展や、バイヤーへのPR・招へい活動の支援等を行う。

- ・家具やクラフト業界等が行う
展示会への出展や バイヤー招へい等の活動を支援

●その他 各種イベント等の開催支援

- ・Meet up Furniture／木工技能競技大会
(6/25～29)
- ・木彫・工芸品協会展（8/21～25 駅前イオン）
- ・陶芸フェスティバル（10/25・26 地場産センター）
- ・やきもの協会による展示・販売（12/13・14 駅前イオン）

令和7年度の新たな取組

●工芸センター オープンファクトリー-の開催

Meet up Furnitureを訪れる業界関係者を対象に工芸センターの施設見学会を開催する。

- ・6/25～27 44人
- ・強度試験のデモンストレーションなどを通して、安全で丈夫な旭川の家具づくりをPR

●自治体間連携の推進

家具産業等に関わりが深い他の自治体との連携・協力体制を強化する。

- ・音威子府村との間に、
木工芸の継承普及に向けた連携協定を締結（7/7）
- ・旭川市の近隣町との間に、
家具等の製造技術の振興に向けた連携協約を締結（予定）

このほか、
機械貸出及び依頼試験の
料金改定に向けた検討を実施
(令和8年度の改定を予定)

工芸センター・オープンファクトリーの開催

- ・Meet up Furnitureを訪れる家具業界関係者を対象に、工芸センター施設内を見学する「工芸センター・オープンファクトリー」を開催。
- ・開発や製品化に至る過程への理解を深めていただくとともに、安全で丈夫な旭川の家具づくりを広くPR。
- ・工芸センター創立70周年を記念する取組として実施。

<日 時> 令和7年6月25日(水)～27日(金)
各日1～3回 各1時間程度

<参加者> 44人(7組)

・地元家具メーカーの取引先関係者	33人(2組)
・家具メーカー(道外)	7人(2社)
・自治体関係者(道内)	2人(1町)
・木材業者(道内)	1人
・ライター(道外)	1人

<内 容>

- ・工芸センターの概要紹介
- ・試験のデモンストレーションと解説
(材料試験、強度試験、環境試験、振動試験 等)
- ・技能五輪に係る取組等の紹介



自治体間連携の推進

1 「旭川市と音威子府村の木工芸の継承普及に向けた連携に関する協定」の締結(令和7年7月7日)

- ・おといねっふ美術工芸高校の人材育成を工芸センターが支援することなどにより、両地域の木工芸技術の向上等を図る。

木工芸普及に向けた協定書を交わす今津市長(左)と連勝村長

上川の家具職人育成へ連携

旭川市と音威子府村は7日、木工芸の技術継承や普及に向けた連携協定を結んだ。旭川市工芸センターが北海道内で唯一工芸科のあるおといねっふ美術工芸高校の人材育成を支援し、旭川家具など上川管内の産業振興につなげる。

工芸センターは、旭川家具の強度試験や技能五輪出場に向けた家具職人への指導を担っている。協定締結により今後はセンター職員が講師として、同高に赴いて技術指導に当たるほか、同高の生徒がセンターの設備などを利用する予定だ。

旭川市役所で行われた締結式で、旭川市の今津寛介市長は「おといねっふ高で高い技術を学んだ卒業生に、旭川を中心とした上川地域に就職してもらいたい」とあいさつ。音威子府村の連勝貴幸村長は「強度検査ができれば、美術の細かな造形にも生かせる」と教育環境の充実を期待した。

将来的には旭川家具のメーカーによる生徒のインターンシップ受け入れや、音威子府産木材の旭川家具での活用にもつなげる方針。締結式に出席した旭川家具工業協同組合の藤田哲也理事長は「産業界としても連携していきたい」と話した。

(鈴木誠)

旭川市と音威子府村が協定
おといねっふ高生を支援

©北海道新聞社

2 「家具等の製造技術の振興に向けた連携協約」の締結(予定)

- ・旭川市と近隣町が自治体間の連携を強化し、工芸センターが行う研修会や技術指導に関する情報等を共有することにより、市町の枠を超えた産地全体としての技術振興につなげる。
- ・上川中部1市8町が連携しながら持続可能な発展を目指す「連携中枢都市圏構想」の一環としての取組。